

岩手県金融経済概況（2024年2月）

1. 概況

県内経済は、緩やかに持ち直している。

最終需要の動きをみると、公共投資は、横這い圏内で推移している。設備投資は、増加している。個人消費は、緩やかに回復している。住宅投資は、弱い動きとなっている。この間、生産は、持ち直しの動きが足踏みしている。雇用・所得環境は、均してみれば改善している。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回っている。

2. 最終需要

公共投資は、横這い圏内で推移している。

先行指標である公共工事請負金額（2024年2月）は、2ヵ月連続で前年を上回った（前年比+52.9%）。

設備投資は、増加している。

2023年12月短観（岩手県）における2023年度の設備投資計画は、非製造業では前年度比減少するものの、製造業ではEV向け電子部品の製造設備など、長期的な需要拡大を見越した能力増強投資等から前年度を上回り、全産業ベースでも前年度比増加する計画となっている（前年度比+13.6%）。

個人消費は、緩やかに回復している。

百貨店売上高（全店舗ベース：2024年1月）は、2ヵ月振りに前年を下回った（前年比△7.3%）。スーパー売上高（全店舗ベース：2024年1月）は、引き続き前年を上回った（同+2.3%）。一方、新車登録・届出台数（乗用車＜含む軽＞：2024年2月）は、供給制約を主因に3ヵ月連続で前年を下回った（同△24.2%）。

この間、サービス消費は、飲食・宿泊を中心に回復している。

住宅投資は、弱い動きとなっている。

新設住宅着工戸数（2024年1月）は、2ヵ月連続で前年を下回った（前年比△29.7%）。内訳をみると、持家（同△12.8%）、貸家（同△49.5%）、分譲（同

△5.4%) のいずれも前年を下回った。

3. 生産動向

生産は、持ち直しの動きが足踏みしている。

鉱工業生産指数（季節調整値：2024年1月）は、2ヵ月振りに前月を下回った（前月比△1.6%）。主な業種の指数をみると、電子部品・デバイスが上昇したものの、生産用機械、輸送機械、はん用機械が低下した。

四半期の動きをみると、2023/10～12月は3期連続で低下した（2023/4～6月：前期比△1.6%、7～9月：同△8.0%、10～12月：同△3.3%）。

4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、均してみれば改善している。

有効求人倍率（季節調整値：2024年1月）は、1.18倍と、2ヵ月振りに前月を下回った（2023年12月：1.21倍）。

雇用者所得（県内合計値：2023年12月）は、常用雇用指数（前年比+1.5%）が前年を上回る一方、名目賃金指数（同△4.8%）が前年割れとなったことから、4ヵ月振りに前年割れとなった（同△3.4%）。

5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品：2024年2月）は、引き続き前年を上回った（前年比+3.7%）。

6. 企業倒産

企業倒産（2024年2月）は、9件、負債総額3,983百万円となった（前年同月は1件、負債総額127百万円）。

7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金・貸出（2024年1月）をみると、預金は前年を下回り、貸出は前年を上回った。貸出約定平均金利（2024年1月）は横這い圏内で推移している。

以 上

お問い合わせ：
日本銀行盛岡事務所
019-624-3622

<ホームページ>

